

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 5		6
	2 1		6
	3 5		6
	4 3		6
	5 1		6
	6 4		6
	7 4		6
	8 1		6
	9 1		6
	10 3		6
	11 5		6
	12 2		6
2	1 5		8
	2 2		8
	3 3		8
3	1 3		8
	2 6		8
	3 2		8
4	1 1		8
	2 3		8
	3 11		8

kyosai-guild.jp

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点				
5	<p>学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも配慮する。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	12				
6	<p>A国・B国いずれの代表者も「非協調」を選択する。なぜなら、A国の立場で考えたとき、仮にB国が「協調」を選択すると、A国が得る点数は、A国が「協調」を選択すると10点、A国が「非協調」を選択すると15点で「非協調」の方が点数が高い。また、仮にB国が「非協調」を選択すると、A国が得る点数は、A国が「協調」を選択すると1点、A国が「非協調」を選択すると5点で「非協調」の方が点数が高い。つまり、B国が「協調」または「非協調」のいずれを選択しても、A国の最適戦略は、「非協調」を選択することであり、同様のことはB国にも当てはまるから、両国にとって「非協調」を選択することが最適な選択となり、互いに「非協調」の結果に至る。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	20				
7	<table border="1"> <tr> <td>主な問い</td> <td> <p>二国間の賃金差以外に、両国の労働供給に変化をもたらす要因にはどのようなものがあるか。</p> </td> </tr> <tr> <td>学習活動</td> <td> <p>資料Ⅱ中の労働市場における労働供給に着目したとき、Y国からX国へ労働者が移動すれば、両国の新たな均衡点はa～dのどこになるかを理解した上で、両国の労働供給に変化をもたらす要因について考察する。</p> </td> </tr> </table>	主な問い	<p>二国間の賃金差以外に、両国の労働供給に変化をもたらす要因にはどのようなものがあるか。</p>	学習活動	<p>資料Ⅱ中の労働市場における労働供給に着目したとき、Y国からX国へ労働者が移動すれば、両国の新たな均衡点はa～dのどこになるかを理解した上で、両国の労働供給に変化をもたらす要因について考察する。</p>	<p>主な問いと学習活動が対応しているものだけを正答とする。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。</p>	24
主な問い	<p>二国間の賃金差以外に、両国の労働供給に変化をもたらす要因にはどのようなものがあるか。</p>						
学習活動	<p>資料Ⅱ中の労働市場における労働供給に着目したとき、Y国からX国へ労働者が移動すれば、両国の新たな均衡点はa～dのどこになるかを理解した上で、両国の労働供給に変化をもたらす要因について考察する。</p>						